

【諮 問 理 由】

上下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少や節水機器の普及等に伴う水需要の低迷などにより収益が減少傾向にある一方で、物価や電気料金が高騰した影響による費用の増加などにより、建設投資や施設の維持管理費が増大するなど、厳しい状況が続くものと見込んでいます。

また、2024年（令和6年）1月1日には能登半島地震が発生し、被災した上下水道施設の復旧に多くの日時を要したことや、2025年（令和7年）1月28日には埼玉県八潮市で下水道管路の老朽化による破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生したことなどを踏まえ、自然災害に備えた施設の耐震化や上下水道施設の老朽化対策を推進する必要があります。

こうした厳しい状況にあっても、市民生活や社会経済活動に欠くことのできないライフラインである上下水道として、今後も安心・安全な水を安定的に供給するため、水道施設を健全な状態で将来へ引き継ぐ責任があり、その実現のためには、健全な経営を維持しながら、施設の更新や耐震化をしっかりと行っていく必要があると考えています。

これまで上下水道局の経営にあたっては、「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）」に基づき、中長期的な視点に立った計画的・効率的な施設整備や持続可能な経営基盤の確立に向け、より一層の経営健全化と市民サービスの維持・向上に取り組んだことで、現行の水道料金を27年間改定することなく、今日に至っています。

本市の水道事業は、2025年（令和7年）11月15日に通水開始から100年の節目を迎えます。幾多の難題を乗り越えながら水道建設に尽力された先人たちに感謝するとともに、次の100年も質の高い水道サービスを提供し続けるという上下水道局の使命を果たすための適正な水道料金について、貴審議会のご意見を賜りたく、諮問いたします。